

(令和7) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(音羽) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援助 機能	安全・衛生の確保	○基本的取組 (挨拶・整理整頓)	清掃活動を行い、自分の身の回りの整理整頓をする習慣をつける。「そうじの時間」と称し、清掃活動を毎月第2・4金曜日と定期的に行っている。清掃場所を学年ごとに指定して、普段使うおもちゃを中心清掃活動を行った。また、高学年の清掃場所は、自分たちで考え行動できるよう援助した。挨拶については、「なぜ挨拶をするのか」指導はしているが、次年度以降も、繰り返し児童に伝えていきたい。
		○ヒヤリハットの共有	児童館内や砂場など危険な箇所があった際にヒヤリハットとして報告。今年度よりヒヤリハットの記入用紙が簡略化されたこともあり、常勤職員だけでなく非常勤職員にも記入を促し職員間で共有することができた。
	健康の管理・情緒の安定	○職員による安全指導	集団下館時の様子など特記事項があれば職員間で共有。帰りの会で児童に注意事項を伝え、安全に下館。次年度以降も継続して安全確保に努める。
		○アレルギー対策	登録申請時に児童のアレルギーについて、児童館で把握し、適切に提供、配慮する。 食物アレルギー対応が必要な児童には、保護者へ提供可能なおやつをチェックしてもらい、確認がとれたものを提供した。提供する際には、誤ってアレルギー物質が入っているおやつを渡さないように個別トレイに用意し、事務室まで本人が取りに来るという形で行っている。アレルギー、エピペンについての職員館内研修を実施した。アレルギー対応おやつの配置方法などを話し合い、より間違いがないように提供している。今後も、アレルギー対応の研修やマニュアルの確認を職員間で実施していく。
	基本的生活習慣の確立	○感染症予防指導・風邪予防指導	帰館時・外遊びから帰って来た時・おやつ時に感染症予防に配慮した。手洗いはペーパータオルを使用。看護学校の実習生から、感染症予防指導として、手洗いの仕方についてなど学んだ。
	社会生活技術の獲得	○おやつ提供	夕飯までの補食・楽しく食べることにより情緒の安定を図る。食物アレルギーの児童については成分を確認後、安全に提供。自分が食べ終わってもおやつの時間中は立ち歩かない、机の拭き方など食事のマナーも、合わせて指導した。
		○宿題・勉強の習慣	小学校長期休業時の学習の時間には、学校の宿題やドリル、館で用意したプリントに取り組む。静かに過ごす時間を設け、机に向かって取り組む習慣を大事にした。
子 ど も 育 成 機 能	生活体験の拡大	○お誕生日会	毎月1回誕生日会を開催。子どもの成長の区切りとなる個々の誕生日を、手作りの誕生日カードの用意と集団あそびを取り入れ、お祝いをした。次年度からは、高学年児童と一緒に誕生日会を進めていけるよう、計画していく。
	社会性の養成	○当番活動	生活の場としての役割を子どもたちが担う活動として、おやつの配膳や帰りの会などでの司会を当番制で行った。進んで当番活動をやりたがる児童もいれば、職員が促してもやりたがらない児童もいる状況がある。
		○長期休業中の活動	一日の流れを意識して、メリハリを持って生活。1・2年生と3年生以上で部屋を分けて過ごし、小学校夏季休業中はマンカラに力を入れた (1・2年生でマンカラ大会を実施)。3年生以上にはやりたい遊びのアンケートを実施し、自分たちのやりたい遊びを大会にした (ドッジビー大会)。新聞あそびやひっくり返しビンゴ、ミサンガ作りなど各職員が遊びを企画をしたり、スライムづくりを行ったりと、長期休業中だからこそ楽しめる遊びを行った。「命の話」を実施し、命の大切さや人との距離について学び、それを生かし「いいところ見つけ」を実施した。おやつ提供を駄菓子屋さん形式で実施し、3年生以上の児童がスタッフとして看板作りやお店屋さんとなって取り組んだことで、長期休業中の特別感のあるおやつの時間を設けることができた。
	自立の促進と自主性の尊重	○けん玉検定	けん玉検定で1番高い級の児童を「けん玉名人」と名付け、育成室内に掲示することで、日頃からけん玉をする児童や検定に参加する児童が増加した。また、検定に参加している児童には、1人1枚検定カードを渡すことで、自分がどこまで達成しているのかわかりやすいように工夫した。次年度も継続していく。
	子育てに必要な情報の提供と交換	○学童クラブだより作成・発行	おたよりを発行することにより、季節ごとの行事、月ごとの予定を周知し、児童の日頃の様子の発信に努めた。うえぶさくらで配信。小中高生向けの児童館だよりもうえぶさくらで配信することで、児童館事業の取り組みも周知した。児童も確認できるように育成室内にも掲示して、予定が把握できるように配慮した。
		○入会説明会の実施	3月に入会説明会を実施し、「音羽児童館のしおり」を配布。学童クラブの役割や目的を説明。生活の流れや決まりなどを丁寧に説明、個別に質問に答えることで安心して学童クラブの生活が送れるように努めることができた。

子育て支援機能	子育ての仲間づくり	○保護者懇談会の実施	年に2回、保護者懇談会を実施。学童クラブの過ごし方や学童クラブの役割について周知。今年度は、保護者のニーズを把握することと、保護者と職員が気楽に話せる関係づくりのため、懇談会終了後に児童も交えてカードゲームやマンカラで遊ぶ時間を設けた。次年度以降も、保護者との連携を図り、定期的に開催する。
		○途中入会児童への対応	受け入れに際して、保護者への説明をはじめ、児童に対しても学童クラブの生活に少しでも早く慣れることができるように親しい友達と一緒に過ごし、徐々に好きな遊びを見つけて過ごせるよう配慮した。児童が学童クラブの過ごし方を知ることができるように、館内ツアーやおもちゃの紹介などを個別で実施した。
	子育てを支えるネットワーク形成	○さくらdaysアプリ連絡ツールの活用	活用することにより、児童館から保護者へ、保護者から児童館へ情報や意見の相互交換ができた。忘れ物の連絡など、保護者がいつでも確認できる利点を活かして、連絡ツールアプリを積極的に活用した。今後も、出欠確認だけにとどまらず、連携や関係性の確立に役立てていく。
		○小学校、地域との連携	小学校とのおたより交換を主として、小学校との連絡体制を密に行った。児童の家庭環境や様子なども積極的に情報交換や連携を取り、安定した関係性を保った。地域と信頼関係を構築し、児童館の行事にお手伝いしてもらおうなど、児童と地域住民が触れ合う機会をつくり出し継続的に連携を取った。

(令和7) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市音羽) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人			
(1)基本的取組 (挨拶、整理整頓)	随時														日頃より挨拶の習慣をつける。片付けの習慣が身につくよう繰り返し話をする。
(1)そうじの時間	24回	273	332	145	83	82	27	0	0	0	0	0	0	942	職員と一緒に児童館をきれいにする。
(1)1年生児童館ツアー	3回	31	0	0	0	12	1	0	0	0	0	0	0	44	児童館を知るために1年生が児童館を探検する。
(1)交通安全教室	1回	14	17	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	42	山科署警察署の警察官をお招きして、交通安全について学ぶ。
(1)防犯教室	1回	16	18	6	5	3	2	1	0	0	0	0	0	51	山科署スクールサポーターをお招きして、防犯について学ぶ。
(1)避難訓練	4回	39	55	23	10	13	1	0	0	0	0	0	0	144	災害時や不審者の対応について訓練を行う。
(1)学童机出し練習	2回	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	1年生が学童机を出す練習をする。
(1)非常用ビスケット試食会	1回	19	21	8	6	5	0	0	0	0	0	0	0	59	災害時の食事の体験を行う。
(2)スライム作り	2回	13	32	12	10	7	2	0	0	0	0	0	0	76	小学校長期休業中の長い時間を使って工作を実施。
(2)1年生ぶんぶんゴマ作り	1回	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	小学校長期休業中の長い時間を使って工作を実施。
(2)誕生会	毎月1回	165	201	78	52	42	10	0	0	0	0	0	0	548	各月に学童クラブの仲間の誕生日をお祝いのする。
(2)誕生会おやつ選び	毎月1回	13	14	6	4	4	1	0	0	0	0	0	0	42	誕生月の児童が、おやつをリクエストする。
(2)誕生会会議	1回	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	誕生会の取り組み内容について会議をする。
(2)うえるかむおとわ	1回	9	19	5	4	5	3	0	0	0	0	0	0	45	新入生の学童クラブへの入会をお祝いする。
(2)実習生企画ハンカチ落とし	1回	7	9	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	19	看護学生企画のハンカチ落としを楽しむ。
(2)実習生企画レクリエーション	1回	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	看護学生企画のレクリエーションを楽しむ。
(2)先生と遊ぼう「フラワービンゴ」	1回	6	10	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	21	小学校長期休業中の長い時間を使って集団あそびを実施。
(2)先生と遊ぼう「ミサンガづくり」	1回	2	10	3	4	5	1	0	0	0	0	0	0	25	小学校長期休業中の長い時間を使って工作を実施。
(2)先生と遊ぼう「新聞やぶり」	1回	6	3	3	4	2	2	0	0	0	0	0	0	20	小学校長期休業中の長い時間を使って集団あそびを実施。
(2)1,2年生マンカラ大会	1回	14	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	1,2年生対象でマンカラ大会をする。
(2)駄菓子屋	3回	36	43	18	12	7	4	0	0	0	0	0	0	120	駄菓子屋スタッフからレプリカのお金でおやつを買う。
(2)駄菓子屋スタッフ	3回	0	0	12	8	4	2	0	0	0	0	0	0	26	駄菓子屋のスタッフとして店員役を行う。
(2)命の取り組み	2回	27	28	12	6	8	3	0	0	0	0	0	0	84	小学校長期休業中に命の大切さや子どもの権利について考える。
(2)ドッチビー	6回	66	74	26	38	5	5	0	0	0	0	0	0	214	気温の高い日、雨天時に遊戯室で運動あそびを実施。
(2)3~6年生ドッチビー大会	1回	0	0	5	5	3	2	0	0	0	0	0	0	15	3年生以上を対象にドッチビー大会を実施。
(2)キャリアゼミ紙コップで遊ぼう	1回	4	5	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	16	キャリアゼミ学生の企画で集団あそびを楽しむ。
(2)クリスマス会スタッフ会議	2回	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	8	クリスマス会のスタッフが企画会議をする。
(2)クリスマス飾り作り	1回	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	クリスマスに向けクリスマス飾りやアドベントカレンダーを作る。
(2)クリスマス飾り付け	1回	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	クリスマスに向け、館内の装飾を飾り付ける。
(2)クリスマス会	1回	19	19	8	4	4	2	1	1	0	0	0	0	58	クリスマス会のスタッフと一緒に、工作やゲームを実施。
(2)ドコモ未来ミュージアム絵画	1回	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	希望者を募って、絵画を作成する。
(2)羽根つき	3回	13	27	10	9	4	1	0	0	0	0	0	0	64	室内遊びとして遊戯室で実施。
(2)ふうせんドッジ	6回	80	74	32	37	6	7	0	0	0	0	0	0	236	気温の高い日、雨天時に遊戯室で運動あそびを実施。
(2)音羽ふれあい広場参加	1回	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	地域行事である音羽ふれあい広場に参加する。
(2)ボーリング	2回	14	13	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	35	室内遊びとして遊戯室で実施。
(2)ハンカチ落とし	1回	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1年生を対象に集団遊びを行う。
(2)けん玉検定	毎月1回	16	10	3	6	1	0	0	0	0	0	0	0	36	けん玉の技に挑戦し、検定を受ける。
(2)ハロウィンミステリーおやつ	1回	19	23	8	7	5	1	0	0	0	0	0	0	63	ハロウィン行事の一つとして、お菓子を用意して食べる。
(2)伝統工芸体験京扇子	1回	0	12	5	3	3	1	0	0	0	0	0	0	24	小学校長期休業中の長い時間を使って伝統工芸を体験。
(2)カルタ大会	2回	1	7	5	1	0	4	0	0	0	0	0	0	18	小学校長期休業中の長い時間を使って正月遊びを実施。
(2)お楽しみ会	1回	16	24	8	8	4	2	0	0	0	0	0	0	62	コーナー遊びやスライドショーで1年間の思い出を振り返る。
(2)お楽しみ会会議	5回	0	0	25	20	2	4	0	0	0	0	0	0	51	児童と職員がお楽しみ会についての会議をする。
(2)お楽しみ会活動・準備	3回	0	0	10	4	1	0	0	0	0	0	0	0	15	児童と職員がお楽しみ会に向けて準備をする。
(2)ドッジボール・風船バレースタッフ会議	2回	0	0	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	14	ドッジボール大会・風船バレー大会についての会議をする。
(2)ドッジボール大会	1回	5	13	8	5	0	1	2	2	0	0	0	0	36	学校長期休業中の時間を使ってグループ対抗でドッジボールを実施。
(2)風船バレー大会	1回	12	5	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	27	学校長期休業中の時間を使ってグループ対抗で風船バレーを実施。
(2)ダンボール迷路取り組み	1回	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	お楽しみ会のコーナーについての会議をする。
(2)ポケモンじゃんけんスタッフ会議	1回	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	お楽しみ会のコーナーについての会議をする。
(2)書道イベント	1回	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	京都橋大学の書道サークルをお招きして、パフォーマンスやワークショップを実施。
(3)保護者懇談会	2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	33年2回実施。学童クラブでの様子について伝える。	
(3)入会説明会	1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	新たに入会する保護者に必要事項を説明する。	
(3)連絡ツールの活用	随時														さくらdaysアプリで保護者との連絡を行う。
(3)おたより配布	12回	254	327	133	157	60	96	0	0	0	0	0	0	1027	月に1回発行。学童クラブ行事や、お知らせなどを保護者に伝える

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごと異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること